

## 冬仕度は、いかがですか？

12月になり、あちらこちらで、クリスマスの準備や、年末年始の情報などが流れてくる様になりましたが、冬支度は、万全ですか？先月は、結露対応について紹介したのですが、今回は、水道管等の凍結防止について紹介します。

深夜から早朝にかけ大きな寒波がやってくると、朝に水やお湯が出ないという電話をいただく事があります。屋外の水道栓、露出配管や建物北側の風当りの強い場所の屋外配管などが主な原因です。

上記部分があれば、露出部分（カラン部分を含む）に保温管を巻くか、断熱アルミシートなどの保温機能のある物を巻くなどの作業が必要です。心配であれば前日の就寝前に、外部の蛇口と、水道メーターから一番遠い蛇口を少し開け水を一晩中出しておくと、水道管の中で常時通水し、配管内での水の凍結を防ぐ事ができます。

最近オール電化等で使用されているエコキュートなど貯湯式タイプのものは、説明書にも書いてあると思いますが、お風呂の循環パイプより上部まで残り湯を残しておいて下さい。（循環パイプを通水し、配管の中の湯や水が、凍結しない機能があります）

水道管等が凍結した場合は、早急に使用しないのであれば、蛇口を閉めたままで置いておき、配管内の自然解凍を待つのが、最良の方法です。早急に使用しないといけない場合は、水道管や蛇口にタオルなどをかぶせ、水やぬるま湯をそっとかけて解凍するのが良いと思います。（間違っても熱湯をかけない様にして下さい。配管や蛇口が熱湯の温度で破裂し、配管ごと取り換えれないといけない場合があります）

凍結の主な原因は、配管に留まっている水や湯の凍結です。天気予報などで、深夜からの明け方の外気温を、チェックし、凍結防止を行ってください。（尚、機器関係の取扱説明書にも凍結防止の事が書いてありますので、再度、目を通して置いて下さいね。）

